

ハイキング



山神の石碑

明治5年、頂上の採石現場の守護神として建てられた。いつしか土中に埋もれてしまったが、昭和21年に発見。台座に安置され現在に至る



秋田谷さん(写真右)と友だちの高橋さん

区内には自然歩道が三つあります。中でも昔から身近なハイキングコースとして親しまれているのが、円山ルートです(円山ルート以外は本誌中央四を参照)。

ここは、大正三年に円山開拓の功労者である上田万平・善七兄弟らによって開かれました。コース内には樹齢百五十年にもなるカツラやミズナラなどがある。

円山ルート

り、天然記念物にもなっています。山頂でひと休みしていた中央区の秋田谷アサさんは、「リスに餌をあげるために、友達と二人で登ってきました。やはり、頂上から見る景色は最高ですね」と話し、久しぶりに見る市街地の絶景に、しばし見とれていました。

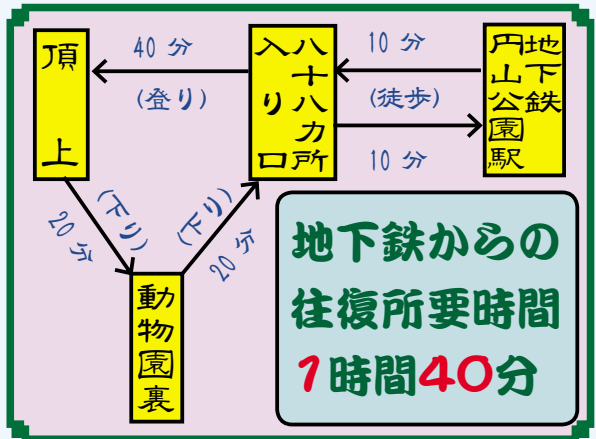


小さい子どもも疲れを見せず、ぐいぐい山道を登っていく



円山八十八カ所入り口

大正4年、上田善七は、成田山新栄寺住職とともに、弘法大師の像を祭る大師堂を建立。併せて、大師ゆかりの四国八十八カ所にちなんで円山の山道に沿い、八十八体の観音像を安置した



地下鉄からの往復所要時間
1時間40分